

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



◎2月定例会審査結果（議案）

大阪・関西万博の本県展示ゾーンの設置を含む「令和7年度一般会計予算」のほか、採用の難しい特定の資格を要する保育士や看護師などの人材確保に向けて、全国初の短時間勤務正職員制度となる「特定の職の人材確保のための鳥取方式短時間勤務を導入する緊急措置に関する条例」の制定、現行の高等学校等就学支援金制度の対象外であった者への授業料補助制度の創設、高校生等がいる低所得者世帯を対象とする奨学給付金を拡充する「令和7年度一般会計補正予算」など23議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

福祉生活病院常任委員会



◎2月定例会審査結果（議案・陳情）

医療・社会福祉・保育施設等の物価高騰対策支援、親亡き後を見据え障がい者が地域で安心して暮らせるための体制整備、闇バイトによる犯罪等の対策強化等を含む「令和7年度一般会計予算」の他、SNS等を介した犯罪やいじめ、生成AIによる児童ポルノ等諸課題に対応し健全な育成環境形成を図る「鳥取県青少年健全育成条例」改正、現行高等学校等就学支援金制度の対象外であった者への授業料支援創設に対応する「令和7年度一般会計補正予算」など25議案について慎重に審議をした結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。また、新規提出の陳情1件を審査し不採択と決定した。

農林水産商工常任委員会



空き店舗を利用したスタートアップ支援を視察（沖縄県）

◎2月定例会審査結果（議案・陳情）

米増産、次期高能力種雄牛造成のための取組や、激動化する国際経済環境に対応する事業者への支援、持続的な賃上げに向けた価格適正化及び生産性向上への支援等、新年度予算など17件の議案の審議を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。また、新規提出の陳情1件を審査し、不採択と決定した。

◎県外調査（2/5～7：沖縄県）

一昨年から同県で販売される星空舞の状況について、更なる販路拡大の可能性を現地関係者と意見交換するとともに、商店街で増加する空き店舗を利用したスタートアップ支援の状況などについて調査した。

地域県土警察常任委員会



吉野ヶ里歴史公園の発掘現場を視察（佐賀県）

◎2月定例会審査結果（議案）

若者や女性からも選ばれる地域の魅力や職場づくりをはじめ、3月末開館の県立美術館や4月からの万博開催を契機とした誘客促進、地域高規格道路の整備等を含む「令和7年度鳥取県一般会計予算」など17議案について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

◎県外調査（2/5～7：佐賀県・熊本県）

佐賀県ではバリアフリーツーリズムの取組、国スポ・全障スポの開催結果、吉野ヶ里歴史公園での文化財保護等について、熊本県では災害対応拠点の整備、横断歩道での一時停止啓発などについて、調査・意見交換を行った。